



# 南あわじ市

## 議会だより



沼島総合センター



西淡庁舎



中央庁舎



緑市民センター

## 初の議会報告会

9月定例会の報告と、市民の皆様から議会に対する貴重な声をお聴きしようと「議会報告会」を11月に市内5会場で開催。延べ371人が参加しました。  
(22～23頁に関連記事)

### 主な内容

- 第36回定例会……………2～9
- 一般質問……………10～16
- 第35回臨時会……………17
- 議会報告会のご報告……………22～23

# 新しい委員会の構成

◎=委員長、○=副委員長。  
名前は写真左上から掲載。



## 総務常任委員会

蛭子智彦 北村利夫 川上 命 柏木 剛 谷口博文  
○熊田 司 ◎出田裕重 (議長)

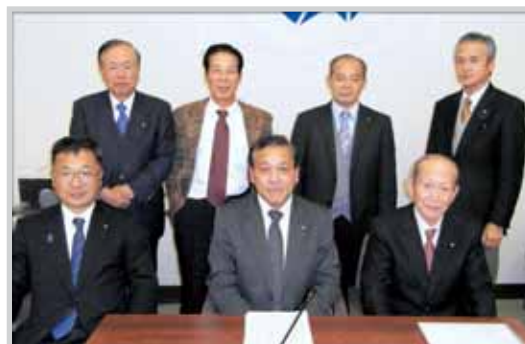
【所管事務】  
市長公室、総務部、財務部、会計課、選挙管理委員会、  
監査委員、その他



## 文教厚生常任委員会

蓮池洋美 登里伸一 中村三千雄 小島 一  
○久米啓右 ◎楠 和廣 (議長)

【所管事務】  
市民生活部、健康福祉部、教育委員会



## 産業建設常任委員会

森上祐治 砂田杲洋 印部久信 長船吉博  
○原口育大 ◎廣内孝次 (議長)

【所管事務】  
産業振興部、農業振興部、都市整備部、下水道部、  
農業委員会

## 庁舎建設 特別委員会

◎川上 命 ○久米啓右  
議長を除く全議員

【所管事務】  
庁舎建設に関する事

## 議会改革 特別委員会

◎原口育大 ○熊田 司  
谷口博文 楠 和廣 印部久信  
砂田杲洋 蓮池洋美 蛭子智彦  
森上祐治

【所管事務】  
議会改革に関する事

## 議会広報広聴 特別委員会

◎柏木 剛 ○原口育大  
廣内孝次 出田裕重 楠 和廣  
小島 一

【所管事務】  
議会広報編集及び広聴活動に  
関すること

## 議会運営委員会

印部久信 森上祐治 久米啓右  
○谷口博文 ◎小島 一 (議長)

【所掌事務】  
議会の運営、会議規則、委員会に関  
する条例等、議長の諮問。

# 12月定例会で議長選挙や委員会改選

# 新体制でスタート

第36回南あわじ市議会定例会(12月定例会)を11月24日～12月17日の会期  
で開催しました。

定例会第1日目には議長選挙、副議長選挙が行われ、議長に阿部計一議  
員、副議長に森上祐治議員が選ばれました。

また常任委員会や特別委員会の改選も行いました。

この度、議会の役職  
改選により、議長に就  
任させていただき、身  
に余る光栄と存じます  
とともに、その責任の  
重さを痛感している  
ところでございます。微  
力ながら、市民の皆様  
の負託に応えられるよ  
う誠心誠意努力する決  
意でございます。  
さて、現下の経済情  
勢は停滞しているなか  
で、本市を取り巻く環  
境は誠に厳しいものが  
あります。市内産業の  
低迷や市の行財政改革  
に鑑み、昨年12月の議  
会定例会におきまして、  
議員報酬の1割削減に  
踏み切りました。

そして、南あわじ市  
が誕生して7年目を迎  
える本年、産業の発展  
と雇用の創出、防災を  
始めとします安心安全  
少子高齢化と人口減少  
問題、行財政改革など  
様々な課題が山積して  
おります。  
また、地域主権が進  
行するなか、自己決定  
の役割である監視・評  
価機能の強化が求めら  
れています。それだけ  
に議会に課せられた役  
割、使命は大きいもの  
があります。  
これら課題解決のた  
め、市民の皆様との対  
話と協働を大切にしま  
がら市民の幸せを第一  
に精一杯取り組んでま  
いる所存であります。  
どうか市民の皆様  
より一層のご指導とご  
鞭撻を賜りますようお  
願い申し上げます。  
議長就任のご挨拶とさ  
せていただきます。



議長 阿部計一



森上祐治副議長

補正予算(第6号)の主な内容

■歳入■

- 地方交付税 ..... 2億6,686万円
- 地域活性化補助金(きめ細かな交付金、住民生活に光をそそぐ交付金) ..... 2億3,670万円
- 子宮頸がん等接種促進事業費 ..... 976万円

■歳出■

- 「きめ細かな交付金」及び「住民生活に光をそそぐ交付金」による事業
  - 洲本市一南あわじ市CATV電話相互接続事業 ..... 4,600万円
  - 保育所施設耐震補強、改修事業(ちどり、北阿万) ..... 1億1,500万円
  - 道路及び河川維持事業 ..... 6,000万円
  - 小中学校営繕工事 ..... 3,000万円
  - 観光施設整備事業(サンライズ淡路、サイクリングターミナル) ..... 1,500万円
  - 高齢者火災警報器設置補助 ..... 620万円
  - コミュニティバス無料券配布 ..... 200万円
  - 幼稚園・保育所整備事業 ..... 500万円
  - いなりこ予算 ..... 400万円
  - 学校運営支援対策事業 ..... 353万円
- 子宮頸がん等接種補助 ..... 1,952万円
- 地域福祉基金積立 ..... 2,000万円
- 環境保全基金積立 ..... 7,000万円
 

※6ページ、「南あわじ市環境保全基金条例制定」参照
- 企業誘致及び雇用振興基金積立 ..... 1億5,000万円
 

※7ページ、「南あわじ市企業誘致及び雇用振興基金条例制定」参照

■議案内容

国の補正予算によつ

て措置された普通交付税の追加等により、現予算額に5億8632万円を追加し、歳入・歳出の総額を255億4554万円とする。

5億8千万円を追加。子宮頸がん・ヒブ・小児7価肺炎球菌ワクチンの接種補助 一般会計補正予算(第6号)

■主な質疑

★国からの交付金

きめ細かな交付金及び住民生活に光をそそぐ交付金の事業で、すでに事業概要が決まっているものは、これまで行われていた緊急経済対策交付金とほぼ内容が同じであるので、今回補正計上した事業で執行する。また、今回の補正予算計上分のみ補助対象になる。これまでの予算計上分は、交付金の補助対象にはならない。

住民生活に光をそそぐ交付金については国の補助要綱等確定していないが1494万円は今回の補正で事業化している。残りの2千万円については、地域福祉基金に積み立てておき、国から詳細な要綱等が示されてから3月補正等で対応する。

■主な質疑

★予防接種補助

予防費の予防接種医師委託料について。日本脳炎の予防接種にかかる委託料であり、平成17年5月から21年6月までの4年間、

■議案内容

普通交付税の追加、生活保護負担金の追加等により、現予算額に8億569万円を追加し歳入・歳出の総額を249億5921万円とする。

■議決結果

賛成多数で原案可決

議案の審査

第36回定例会では市長提出議案が25件、議員提出議案が8件上程されました。市長提出議案は所管の常任委員会に付託し、十分な審議の上、すべての議案が本会議で賛成多数で可決されました(人事案件議案は委員会付託なし)。議員提出議案は1件を除く全議案が可決されました。議案内容と審議内容、議決結果を掲載します。

国保税抑制、一般会計から国保特別会計へ9千万円

一般会計補正予算(第5号)

補正予算(第5号)の主な内容

■歳入■

- 普通交付税 ..... 3億3,346万円
- 社会福祉費、児童福祉費負担金 ..... 3,849万円
- 前年度繰越金 ..... 4億5,974万円
- 財政調整基金及び減債基金の取りくずし ..... △3億1,400万円
- 臨時財政対策債 ..... 2億6,690万円

■歳出■

- 国保税抑制対策 ..... 9,000万円
- 日本脳炎及び新型インフルエンザワクチン接種補助 ..... 2,420万円
- 広域水道企業団出資金(上水道安全対策) ..... 2,780万円
- 水道高料金対策補助金 ..... 852万円
- 障害者介護給付金 ..... 3,792万円
- 特別職及び職員給与、期末手当 ..... △7,562万円
- 県営ため池等整備事業負担金 ..... 2,259万円
- 市債繰上償還 ..... 4億2,296万円
- 財政調整基金積立 ..... 3億3,300万円

副作用があるというところで中止していたので、生後2ヶ月から4歳までと9歳から13歳までの方を対象にしている。疾病対策費の新型インフルエンザワクチン接種委託料の対象者は、A香港型、B型が入っている。接種回数は、13歳未満は2回、13歳以上は1回。接種費用は、非課税世帯及び生活保護世帯は無料、65歳以上は昨年同様に千円、それ以外の方は、1回目3570円、2回目は2550円になる。



▲第36回定例会

★いなりこ予算  
いなりこ予算は当初予算の400万円を今回の補正で400万円増額しているが執行状況は。  
11月末現在で4庁舎において38件、141万円であり、今後も対応していく。

★らんらんバス無料券  
コミュニティバス運賃助成金の無料券の配布基準は。  
75歳以上または、障害者を対象。昨年は年間7千人に利用していたいており、高齢者の負担軽減を目的としている。

★火災警報器設置補助  
在宅老人日常生活用具給付事業補助金の補助内容と補助基準は。  
平成23年5月までに設置義務のある火災警報器については、高齢者の非課税世帯を対象に申請があれば、世帯に2個までの取り付け費用込みでの設置補助を行う。

★予防接種補助  
予防接種委託料の内訳は。  
子宮頸がんワクチン、小児7価肺炎球菌ワクチンの接種と7月から実施している、ヒブワクチンの対象年齢2歳から5歳未満を追加した接種費用。  
ヒブワクチン接種に伴う個人負担は。  
定期接種に準ずる扱いになるため個人負担は生じない。

★施設修繕  
サンライズ淡路及びサイクリングターミナルの修繕内容及び備品購入の内訳は。  
サンライズのグラウンド修繕工事は、進入道路に隣接するフェンスの修繕と排水対策工事が主なもの。サイクリングターミナルの非常用発電機改修工事は経年劣化に対応する

ものである。また、備品購入は、地デジ対応のテレビ54台分の買い替えに伴うもの。

★学校支援

問 学校運営支援対策事業の概要は。

答 市内の小中学校の学級崩壊等の対策として、教員OBまたは警察官OB、3人を臨時職員として雇用し各校を見回すため、23年1月から3月までの人件費と公用車の購入費を計上している。

■討論

反対 蛭子智彦

■議決結果

賛成多数で原案可決

特別会計等の補正予算 9つの議案

特別会計等補正予算の9議案は、いずれも所管の常任委員会が審議のうえ、本会議で賛成多数で可決されました。

国民健康保険特別会計 補正予算(第1号)

補正後の予算総額 2370万円。

現時点での本年度の収支を推計した結果、収入不足の見込みにつき臨時緊急措置として、一般会計から繰入する予算補正。

後期高齢者医療特別会計 補正予算(第1号)

21年度療養給付費負担金の確定に伴う精算等について予算補正。補正後の予算総額11億6384万円。

介護保険特別会計 補正予算(第2号)

介護給付費見込額の増による介護給付費交付金の追加。補正後の予算総額4億7861万円。

老人保健特別会計 補正予算(第2号)

20年3月診療以前の過誤調整の遡及分についての予算補正。

訪問看護事業特別会計 補正予算(第1号)

職員人件費の増額による補正。補正後の予算総額5247万円。

ケーブルテレビ事業 特別会計補正予算(第1号)

分担金、負担金、工事負担金増額による補正。補正後の予算総額4億5852万円。

下水道事業会計 補正予算(第1号)

人事異動等による人件費調整、処理場維持管理業務の入札による減額。建設改良費の減額等の予算補正。

農業共済事業会計 補正予算(第1号)

園芸施設無事戻金及

び農業共済新聞普及奨励金の確定、人件費の補正。

国民宿舎事業会計 補正予算(第1号)

人件費の減額による補正。

有害鳥獣対策を強化 環境保全基金条例

■議案内容

市の山、川、海等の豊かな自然環境及び農地を保全し住環境整備及び自然や動物との共生を図る目的で基金を設置する。

山保全等にも幅広く事業実施したい。

問 基金の適用期限が5年では集中的な事業実施ができないのでは。答 県の鳥獣害対策とは別に独自に実施しており、1、2年はその成果を見て5年間にこだわらず対応していきたい。

■主な質疑

問 鳥獣被害対策で雇用する人件費が主であるのか。

■議決結果

賛成多数で原案可決



雇用対策を強化 企業誘致及び雇用振興基金条例

■議案内容

現下の厳しい雇用情勢を踏まえ、新たな雇用及び就業機会の創出を図る事業を実施するため、基金を設置する。28年3月にかけて積立金による事業を展開する。

■主な質疑

問 この基金により行われる事業概要は。答 今回の基金の積み立ては、国の補正予算で雇用対策に重きを置いた交付税が追加されたものであり、企業誘

■議決結果

賛成多数で原案可決

企画提案を公平に審査 プロポーザル審査委員会条例

■議案内容

市が発注する高度な技術または専門的な知識を必要とする業務に係わる契約の締結にあたり、プロポーザル(企画提案)方式による審査を公平、公正に実施するため、プロポーザル審査委員会を設置するための条例制定。

■主な質疑

問 審査内容を公開できないのか。答 この条例はプロポーザルに関する基本となる条例であり、公開についてはそれぞれの実施要領で対応すべきものである。この条例で原則公開まで入れると情報公開条例に反する

部分も生じるため、原則公開には慎重さが必要であり、公開できるものは一部公開もできる。問 庁舎建設でのプロポーザル実施要領はどうなっているか。答 最優秀提案者、次点者の総得点数は公表する。審査委員名も審査終了後に公表する。問 業者及び市民からの問い合わせがあった場合の公開は。答 法人の権利が侵害されない可能な限り、

修正動議の提出 修正案は否決に

■修正案要旨

▽修正点①「公平かつ公正に」の文言を「公正かつ透明性を担保」に改める。②「委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。委員がその職を退いた後も同様とする」の項を削除する。▽発議者 長船吉博ほか

■議決結果

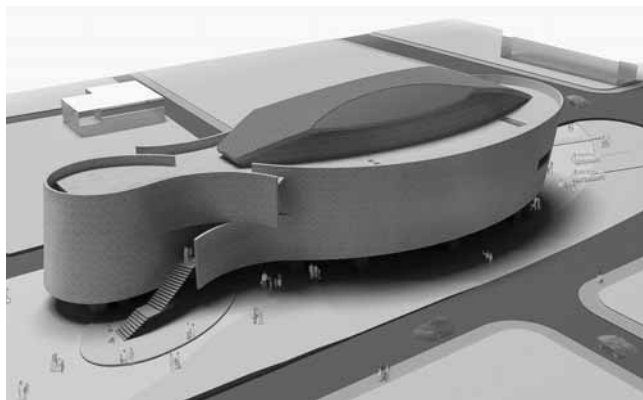
修正案、賛成少数で否決。原案、賛成多数で可決。

淡路人形会館の建築

淡路人形会館(仮称)建築工事請負契約の締結

■議案内容

制限付き一般競争入札による契約の承認。▽契約金額 4億6672万5千円。▽契約の相手方 五洋建設(株)神戸営業所。▽建築場所 福良なな倉庫。▽建築概要 建築面積 1125㎡、延床面積1894㎡、地上3階RC構造。1階―駐車場、駐車台数23台、駐輪台数60台。2階―客席(面積約200㎡)、客席数179席)、舞台(面積450㎡)。3階―総合練習場、楽屋倉庫。▽完成時期 24年春



▲淡路人形会館(仮称)完成予想図

# 議員提出による議案

## ■主な質疑

**問** 空調等設計書から除外した設備を入札減で対応するののか。

**答** 1300万円程度の入札減があり充当したい。

**問** 県内産木材工事を見込んでいるがその契約方法は。

**答** 新年度において追加に伴う工事請負変更契約で対応したい。

**問** 前回の入札で不落下となった入札価格との差に大きな開きがあり、建物全体の品質について心配である。

**答** 設計の段階で県の確認を受け、単価が明確でないものは数社に見積りを依頼し適正に積算されており、今回の落札は妥当である。また、工事の実施にあたっては、監理の設計士と十分協議し、より良いものを使用するようにはしていきたい。

**問** 工事が当初予定より1年遅れで、24年3月末完成予定としているが、淡路人形座の移転はどうなるか。

**答** 跡地利用検討委員会との協議で十分に説明し、工事が完成するまでは、現在の場所まで営業を行い、その後に移転することでご理解をいただいでいく。

**問** 瓦の使用状況は。

**答** 床に瓦タイル19.9㎡、やぐら4㎡、ホールの壁46㎡、客室の壁140㎡、屋根には新しく開発した特注瓦を326㎡使用する。

## ■討論

反対 蛭子智彦

## ■議決結果

賛成多数で原案可決

## 給与・期末手当の縮減

### 職員・特別職

## 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定

### ■議案内容

①給与改定△0.19% (全体として) ②期末手当 22年12月1・50月↓1・35月、23年6月1・25月↓1・225月、23年12月1・35月↓1・375月  
③勤勉手当 22年12月0・70月↓0・65月、23年6月0・70月↓0・675月、23年12月0・65月↓0・675月

### ■主な質疑

**問** 人事院勧告に準拠しての条例改正は県下一律か。他市の状況はどうか。

**答** 人事院勧告の準拠は基本であるが細かい

ところでは違いもある。

**問** 今回の条例改正による影響額は。

**答** 22年度分で4447万5千円。

**問** ラスパイレス指数は合併時と比べてどうなっているのか。

**答** 17年度は94・9、21年度は96・4。

**問** 指数が上がっているのは、職員数が減っているのに管理職数が増えているためか。

**答** 管理職の給与は18年度以降変わっていないので影響は出ていない。

### ■議案内容

**問** 人事院勧告を準拠しているのであれば、ラスパイレス指数は増加しないのでは。

**答** この指数の上昇は他市においても同じように推移している。また、国との比較のことも

### ■主な質疑

**問** 今回の条例改正に

### ■議案内容

市長、副市長、教育長の12月分期末手当の支給月数を2・10から2・05とする。

### ■議決結果

賛成多数で原案可決

## 特別職及び教育長の給与等の一部を改正する条例制定

あり、今後調査したい。

**問** 若い職員や子育て職員の生活給は確保されているのか。

**答** 今回の人事院勧告ではこれからの担っていく若い職員や子育てをしていく職員層について給与カーブは適正であるが50歳以上ではゆるやかになり、55歳以上では厳しくなっている。

### ■議決結果

賛成多数で原案可決

## 22年度農業共済事業に係る園芸施設共済無事戻金の支払い

支払対象農家戸数32戸、支払無事戻金39万6388円。  
(賛成多数で原案可決)

## 南あわじ市国土利用計画の策定

国土利用計画法に基づき、長期にわたって安定した均衡ある土地利用を確保することを目的に市の区域における国土の利用に関して、市総合計画との整合性を保ち、必要な事項を定めたもの。  
(賛成多数で原案可決)

## 淡路島内の特別支援学校の在り方についての意見書提出を求める請願書

### ■請願内容

兵庫県立淡路特別支援学校に視覚障害者(児)を対象とし、専門知識のある教職員を配置するとともに、高等部専攻科を設置し、職業訓練の充実を図るよう意見書の提出を求める。

### ■請願者

兵庫視覚障害者の生活と権利を守る会淡路支部 吉田善平

### ■紹介議員

蛭子智彦ほか

**■議決結果**  
賛成多数で採択

## 尖閣諸島及び千島列島は我が国固有の領土であることを宣言すると同時に日韓両国で懸案となつている竹島の領

## 有について早急に解決を図ることを求める決議

### ■提出者

谷口博文

**■議決結果**  
賛成多数で原案可決

## 議会改革特別委員長原口育大君の不信任決議

### ■提出理由

原口議員はこの度、市民の会から議会での発言取消しと陳謝を求められるなど、本来進むべき議会改革と逆行する主張、発言があり、議会改革委員長としての信頼に値しない。

### ■提出者

印部久信

**■議決結果**  
賛成少数で否決

## 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定

### ■議案内容

①議員報酬の減額。議長 月額50万円↓45万円。副議長 月額42万円↓37万8千円。委員長 月額40万円↓36万円。議員 月額38万5千円↓34万6500円(23年4月1日施行)。  
②期末手当を0・05ヶ月減額(22年12月1日施行)。

### ■提出者

議会運営委員長 小島 一

**■議決結果**  
賛成多数で原案可決

## 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への対応に関する意見書

### ■議案内容

TPPへの参加は、我が国の農林水産業に止まらず、地域社会に壊滅的な打撃を与えることになる。国においては我が国の農業振興や食料安全保障をはじめ国内全体に与える影響を十分考慮し、適正な対応を求める。

**■提出者**  
産業建設常任委員長 廣内 孝次

**■議決結果**  
賛成多数で原案可決

### ■提出者

議会改革特別委員長及び庁舎建設特別委員会の設置並びに委員の選任が議会運営委員長より提案。淡路島内の特別支援学校の在り方についての意見書が文教厚生常任委員長から提案された。

いずれも賛成多数で可決された。

## 土地改良事業の施行の変更(八幡地区)

▽事業量 整地工17・6ha↓17・2ha。事業費6億2014万円↓5億8196万4千円(事務費含む)。  
(賛成多数で原案可決)

## 字の区域の変更(八幡地区及び広田、八木、神代、松帆、西淡志知地区)

賛成多数で原案可決。

## 損害賠償額の決定の専決処分承認

22年6月2日の福良における公用車接触事故の賠償の承認。賠償額8万7600円。  
(賛成多数で承認)

## 人権擁護委員候補者の推薦

松坂壽仁(潮美台) 鳥取太一(福良)  
(賛成多数で適任)

一般質問

市政を問う



12月6、7、8日の3日間、一般質問が行われました。

市民連合・無所属クラブ 北村 利夫 議員



下水道事業について

市財政の認識は、

財務部長 人口減少

社会に入りスリム化

を図る必要がある。

問 全国1750市

区町村の健全判断、

資金不足比率等が公

表され、本市は将来

負担比率ワースト42

位、実質公債費比率

140位の感想は。

問 下水道の財政力は弱いことを認識しつつ進めた事業か。

下水道部長 はい、そのとおりです。

問 基準内、基準外の繰り入れ、今後の推移は。

下水道部長 使用料だけでは採算性はあわない、平成30年ごろには約20億必要です。

問 工事請負については議会に提案されない小分け発注が一番効果が良いのか。

下水道部長 小分けではなく1年間で出来る範囲を発注している。

問 小分

問 下水道事業は景気対策であったのか。

財務部長 住民生活の環境整備が目的で取り組んだ事業と認識している。

問 今後の農業振興策は。

農業振興部長 認定農家や法人の農地の集積化に対応できる「農地バンク」で、農地のあるせん等を行い農業振興策に努めたい。



下水道工事現場

正道・無所属クラブ 谷口 博文 議員



問

21年度の島内観光客の総入込数は、

1212万8千人で、

交通利用機関別では

自家用車で60・1%

を占め、貸切バス7・

7%、路線バス7・

9%の状況下であり

ます。今後普及する

電気自動車の急速充

電施設を目的税の入

湯税を活用し、市内

の観光施設に対し補助金を出し整備すべきではないか。

要があるのかな？

問 自転車で島内を一周する

のアイデアをアワイ

チレースが先般開催

されたわけですが、

今後継続される計画

はありますか。

市長公室長 先日行

ったなかで、かなり好評

であり、島内3市、

県民局も含め継続し

たいという思いがございます。

問 若人の広場について。南あわじ市の今後の取り組みについて。



▲アワイチレース（ロングライド150）

補助事業のメニューなど財源も考え観光施設、平和とセットとしたような観光施設という事で内部で検討している。

その他、インフラ（社会資本整備）につい

て県道拡幅、市道整備、三原川河川改修

事業、高潮対策、排水対策について質問

しました。

正道・無所属クラブ 久米 啓右 議員



南あわじ市の農業について

戸別所得補償に

関して市長の考えは。

市長 この制度は米

を主にした取組であ

り、公共事業を削っ

てまで行うのであれ

ば地域に応じた制度

として野菜農家への

恩恵もある施策にす

べきと考えている。

問 米トレーサビリティ法とは。

農業振興部長 米の流通過程を、生産から消費まで書類等を備えて追跡可能な状態にする制度である。

問 戸別所得補償とトレーサビリティ法との関連は。

農業振興部長 新規需要米で書類等を備え、不正を防止するものと解釈している。

問 行政として、この法律の農家へのPR策は。

農業振興部長 転作説明会、ケーブルテレビ、広報紙等でPRする。

問 農業振興策について主な取組は。

農業振興部長 ほ場整備の推進、集落営農の組織化、機械の共同化、機械購入の補助事業へ援助、放棄田対策等である。

問 ほ場整備や集落営農の実施に関し、部長の見解は。

農業振興部長 ほ場整備は地元

の協力無くして

必要となりました。

お米には取引伝票等の保存が必要となりました。

お米には取引伝票等の保存が必要となりました。

お米には取引伝票等の保存が必要となりました。

お米には取引伝票等の保存が必要となりました。



ゆづるはクラブ 原口 育大 議員

新庁舎建設と住民自治

問 これからの行政サービスと市民負担の関係は、高サービス高負担なのか、低サービス低負担なのか、あるいは中サービス中負担なのかを選択する時代になる。市民交流センターは、地元住民の参画と協働ができないとサービス低下になり、サービスの平準化には時間が必要。態勢のできたところから試験的に取り組むべき。

市長公室長 地域の運営協議会のような立場の方とこれから相談するが、コミュニケーション機能の熟度が高く、事務所スペースがあることが必要。

住民自治

問 住民自治の観点から、行政と地元がともにつくり上げる努力が必要。住民が積極的にいかかわれる協議の場を作るべき。

市長公室長 地域でできることは地域ですということ、思いを醸成していきたい。

環境政策と住民自治

問 ゴミ焼却施設の更新計画と方向性は。

市民生活部長 県の広域化計画に沿って検討中、現在の寺内清掃センターは60トン炉であり、同規模の建替えを想定すると約37億円である。

問 広域化での他市との負担比率が均等割と



▲自治会によるゴミの分別収集

人口割だけでは、減量への取り組みが正しく評価されない、ゴミの減量努力が協議に反映されるような交渉をすべき。

問 子供たちへの環境学習などの分野はNPO等の協力でもできるが実態は。

問 参画と協働による住民自治を実現するには、できるだけ市民の意思が反映される条例なり組織づくりも並行してやるべき。



▶TPPによる市内基幹産業への影響は？



市民連合・無所属クラブ 印部 久信 議員

TPP(環太平洋パートナーシップ協定)について

問 23年11月にもTPP参加に結論を出す。と政府は言っているが、仮に締結された場合、日本農業、特に南あわ

じ市の農水産業はどのような影響があるか。

市長 南あわじ市は農業を基幹産業としている。締結された場合、壊滅的な打撃を受ける。知事にも反対の立場で県として表明してほしいとお願した。

産業振興部長

水産業は関税自体が低い数字です。20年度生産額は1兆6千億円。TPPが締結された場合、4千2百億円の減少。南あわじ市については、海苔、海産物に影響がある。

農業振興部長

農業の総生産額は8兆4千億円。損失額は4兆1千億円。多面的機能損失は3兆7千億円、食糧自給率は40%から14%に低下。酪農は減少率56%と言われております。

人形会館の建設について

問 今回3回目の入札で4億4450万円で落札との事。私は今でもあえて津波の心配のある福良港に会館を建設するのか。大鳴門橋記念館で狭いのなら拡張したら良いのではとの考えがありますが、20年当初事業費が3億1千万円が現在5億7700万円。その理由は。

教育部長 建設委員会、人形座と協議し、舞台等の充実、2階建から3階建、移設工事費、県内木材利用により増額。

問 将来、地球温暖化、異常気象が危惧され農産物の自給関係が不安定になる。食料主権の立場からも国内生産は必要である。

新人形会館建設は島外業者！

問 地元業者が落札できなかった原因は設計士にあると思う。審査方法は。

教育部長 10名で6項目を評価。

問 安い価格で落札、工事変更し増額を認めないように。

教育部長 極力事業費範囲で。議員、地元業者、市民がこの価格で出来るのか心配。教育部長 4億8千円が、5億8千円に変わらないうえに、団塊世代高齢化対策！国保は市から県



ゆづるはクラブ 出田 裕重 議員

「出産祝い金」を子育て関連の商品券に

市長 商工会の業者さん自身がいろいろもう少し発想して行政に働きかけをしてもらいたい。「波及効果」がこれだけあるというふうな提案していたら、広く市民に浸透すると思う。

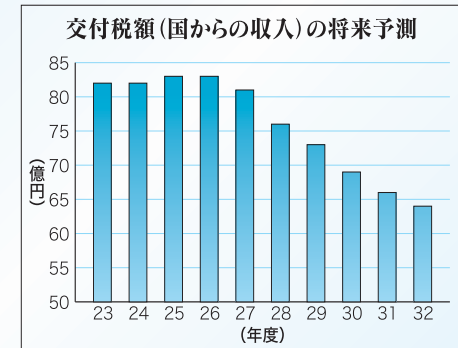
問 結婚支援は3市共同で行うべき。健康福祉部長 これまで計12組の方が結婚された。3市によってそれぞれこれらに對する取り組みが異なるので、イベントの開催日が重ならないようやり取りをしているのが現状。

3市合併すべきか否か。模索する時期が来ている

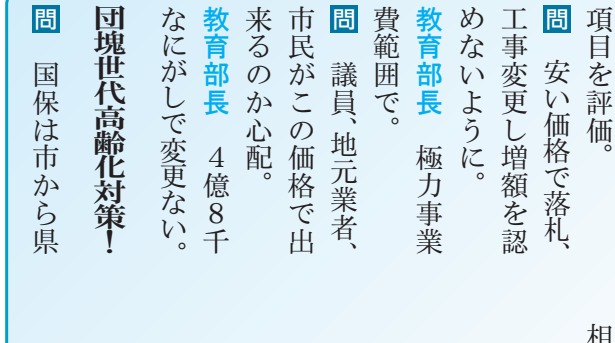
問 平成32年で合併特例制度が終わる。3市で協議を開始すべきである。

市長 経済状況、人口規模等を考える一つの将来展望であるが、今の3市のそれぞれ5年間歩んできた中身についても、それぞれ

「ファシリティ・マネジメント」の導入を財務部長 各々がそれぞれの資産の維持管理をするのではなく、市全体の公有財産の管理体制を一元化する手法ですが、そういった考え方で、取り組んでいきたい。



※平成32年には合併した市町村に配分される地方交付税の特例27年度より激変緩和措置による減額開始がなくなり、現在よりも約15億円程度の交付税が減額されることになっていきます。



▲養護老人ホーム「さくら苑」

市民連合・無所属クラブ 長船 吉博 議員



健康福祉部長

条件闘争である程度確定。問 介護施設の待機者は。健康福祉部長 南あわじ市で107名。問 南あわじ市で1学年、団塊世代外で平均約600人、団塊世代では約千人。これだけ多く先行き不安。都道府県では介護施設を個室から相部屋に要望。

健康福祉部長 国の方針は個室だが相部屋も考えていると思う。

問 認知症等のサポートは。健康福祉部長 生活機能を把握するため基本チェックリストの問診、老人クラブでの健康づくり事業を実施している。県立淡路病院では認知症疾患医療センターが設置されている。

問 議員、地元業者、市民がこの価格で出来るのか心配。

教育部長 4億8千円が、5億8千円に変わらないうえに、団塊世代高齢化対策！

問 国保は市から県

問 国保は市から県

日本共産党 蛭子 智彦 議員



**人形会館建設  
請負契約について**

**問** 新人人形会館の建設請負契約は、地元業者で2回も不落になった。大手ゼネコンが資本力によって仕事を請け負うのは地域の活性化につながるのか。設計変更や地元業者に発注すべきと言う声はなかったのか。  
**教育部長** 地元業者に請け負っていただくのが一番よいと思いますが、ルールに則って行っています。  
**問** ゼネコンが請け負って地域の活性化に役立つかどうか、立ち止まって考えて

**TPP参加に反対し、  
農業振興を求め**

**問** TPP参加に反対との市長の見解でした。今後どのような農業振興を図る考えか。  
**市長** 国に南あわじ地域農業の特色、酪農、野菜生産での特色を評価してもらえよう強く要望しているところ。

**農業振興部長 今、  
検討しているところ。**

**問** 農協も要望を出している。早急に対応していただきたい。  
**農業振興部長** 現在農協とも協議しています。

**市内道路整備の  
合併支援事業5路線  
8ヶ所の事業進捗に  
ついて。**

**問** 平成20年度県の行革で合併支援の見直しによって、3路線4ヶ所用地のまとまっている箇所から整備が進捗しています。  
**農業振興部長** オニオン道路延長1万7千メートル、本市1万3500坪用地取得完了90%。25年完成に向けて取組んでいます。

**産業界部長 水仙  
郷の鳥獣被害対策に  
ついては、落石防止  
対策を含めた園内整  
備と併せて実施して  
おり、一度に全部は  
できませんが鹿等が  
侵入しやすい所から  
徐々に対応していま  
す。**

**市長公室長 利用者  
の利便性、周辺への  
問題等考慮して、当  
面の間は無料で取り  
組んでいきたいと思っ  
ています。**



▲TPPで酪農経営はどうか？

**市の花(日本水仙)  
の自生地である灘黒岩水  
仙郷における鳥獣被害対  
策及び市の木(黒松)の  
群生地である慶野松原の  
松くい虫被害防除対策に  
ついて。**



▲利用者の多い陸の港西淡駐車場

正道・無所属クラブ 楠 和廣 議員



公明党 熊田 司 議員



**子宮頸がんワクチン  
について**

**問** 対象者の接種費用はどうなるのか。  
**健康福祉部長** 国が、市が、市が、(地方交付税で8割還付)を補助するので、個人負担は必要ない。  
**問** 22年度の無料接種対象者の範囲は。

**健康福祉部長 当市  
では中学1年生から  
高校1年生までを考  
えている。**

**成人T細胞白血病に  
ついて**

**問** 妊婦が成人T細胞白血病ウイルスに感染しているかどうかの検査は無料で行うことができるのか。  
**健康福祉部長** 当市で行っている妊婦健診の助成事業の中に検査費用も含まれている。  
**問** キャリアと診断された妊婦の相談窓口はどこになるか。  
**健康福祉部長** 専用窓口はないが、健康課へ問い合わせいただければ対応できる



**行政評価制度について**

**問** 行政評価は今後も行う予定か。  
**財務部長** 平成18年から取組んだ結果1億円以上の節減効果があり、職員の事業に取り組む姿勢にも好影響が見られたので、暫時継続している。  
**問** 人事院規則の改正により国家公務員の病気休暇が90日上限とすることになったが当市ではどう対応するのか。  
**総務部長** 市としては現在120日である病気休暇を23年4月1日より90日に改正するべく準備中である。

**職員の病気休暇に  
ついて**

**問** 人事院規則の改正により国家公務員の病気休暇が90日上限とすることになったが当市ではどう対応するのか。  
**総務部長** 市としては現在120日である病気休暇を23年4月1日より90日に改正するべく準備中である。



ゆるはクラブ 柏木 剛 議員

**農業問題について**

**問** 農業就業者数の減少、TPP締結による影響など、農業の先行きが心配されているが、私は決して悲観的には見ていない。但し、行政として積極的に取り組んでいただきたい課題がある。行政の将来に向けた方針は。  
**農業振興部長** 将来とも南あわじ市の基幹産業。集落営農、認定農業者拡大支援の方向を考えている。  
**問** やる気のある若手による規模拡大が放棄田の解消につながり、将来の農業を支えていくべく考えているが、今、規模の大

**さい農家戸数  
は。  
農業振興部長  
耕作面積1  
町以上が10  
28戸、2町  
以上が67戸、  
売上額1千万  
円以上が40  
0戸。規模拡  
大のため農地  
バンク等によ  
る支援、また、労働力  
については、お助け隊  
などの支援を考えた  
い。  
**問** 6次産業、大規模  
産直施設、観光とセッ  
トの方向は。  
**農業振興部長** 食の拠  
点となる産直施設は観  
光客を誘致する意味でも  
重要、前向きに取り組  
む。  
**問** 嫁がない農家の  
跡取りが多い。今、南  
あわじ市で30代、40代  
の单身男性の数とそれ  
への対策は。**



▲有害鳥獣の捕獲隊

**健康福祉部長 約16  
00人、割合で26・  
4%。ハッピーマジック  
の会員を増やし、島  
外ともタイアップし事  
業展開していく。  
**問** 鳥獣害対策につ  
いては。  
**農業振興部長** 適正頭  
数に減らしていくため、  
捕獲班を編成し積極的  
に駆除に取り組む。  
他に財政健全化につ  
いて質問しました。**





ゆづるはクラブ 小島 一 議員

国勢調査について

問 調査の問題点とその対応について。  
総務部長 調査困難世帯や郵送による回収について問題がある。調査員の安全や秘密の保持については打合せ会で周知徹底している。

問 人口が5万人を切るような影響があるのか。  
総務部長 多少の影響はあるかと思うが、大きく行財政等に影響は出ない。

たこフェリーについて  
問 廃止による市民生活への影響は。  
市長公室長 通勤・



▲運航を休止した「たこフェリー」

通学とか買物などはほとんど影響はないと考えている。

問 再開についての基本的な考えは。  
市長公室長 市としては、たこフェリーの再開にあたって、新たな負担が発生しないことが条件である。

問 再開についての基本的な考えは。  
市長公室長 市としては、たこフェリーの再開にあたって、新たな負担が発生しないことが条件である。

問 再開についての基本的な考えは。  
市長公室長 市としては、たこフェリーの再開にあたって、新たな負担が発生しないことが条件である。

南あわじ市

国土利用計画について

問 概論や概念ではなく、実効性のある条例、開発指導要綱を整備する必要は。  
都市整備部長 開発が進んでから周辺の地域が迷惑とならないような開発指導に努めたい。

教育について

問 安全教育はもちろん大切だが、門扉の常時閉鎖、防犯カメラの設置、防犯ブザー等々、最近の学校は地域から疎遠な感じがするが。  
教育長 子どもの安全が脅かされている中で、地域も家庭教育も学校へ丸投げされている現状がある。「守りの教育」という訳ではない。

問 給食センターの統合に関する答申が出ているが、現時点での見解は。  
教育長 老朽化や、安全、衛生面等総合的に見て、統合がベストだと考えている。

問 答申にも明記され



ゆづるはクラブ 森上 祐治 議員

教育について

問 安全教育はもちろん大切だが、門扉の常時閉鎖、防犯カメラの設置、防犯ブザー等々、最近の学校は地域から疎遠な感じがするが。  
教育長 子どもの安全が脅かされている中で、地域も家庭教育も学校へ丸投げされている現状がある。「守りの教育」という訳ではない。

問 給食センターの統合に関する答申が出ているが、現時点での見解は。  
教育長 老朽化や、安全、衛生面等総合的に見て、統合がベストだと考えている。

問 答申にも明記され



▲市役所窓口で応対する職員

有害鳥獣対策

問 有害鳥獣対策で、農家の方をはじめ地域住民等関係者で総合的な研修会を持つのは？  
農業振興部長 前向きに検討していきたい。

職員への士気について  
問 公務員バッシングが厳しい。本市の職員の給料ベースは高いのか低いのか。  
総務部長 県下29市の中で22番目だ。それで

問 低いんだ。それで

問 低いんだ。それで

問 低いんだ。それで

問 低いんだ。それで

問 低いんだ。それで

問 低いんだ。それで

第35回 臨時会

新庁舎建設について市民の意思を問う 住民投票条例案が上程

10月29日に第35回臨時会が招集され、「南あわじ市新庁舎建設について市民の意思を問う住民投票条例制定について」の議案が上程されました。

11月2日の総務常任委員会での審査を経て、11月4日に採決が行われ、否決されました。

議案内容

市民の意思を問う住民投票条例制定の請求を受理したので議会に付議する。

主な質疑

問 住民投票条例の制定には、地方自治法第112条第2項において定数の12分の1の議員で議員提案できたが、どうして直接請求になったのか。

参考人 議員提案できることは認識していたが、住民説明会で十分理解できないでいたところ、同じ思いをもった住民が多かった。その中には議員も5名いたが、住民が中心となって直接請求を行うことに至った。

問 署名の効果を判断する機関である。  
答 受任者でない人が署名を集めていたのでないか。  
参考人 例はあったと聞いているが、悪意は全くなかった。判断は選挙管理委員会に任せる。

問 署名の効果を判断する機関である。  
答 受任者でない人が署名を集めていたのでないか。  
参考人 例はあったと聞いているが、悪意は全くなかった。判断は選挙管理委員会に任せる。

問 署名の効果を判断する機関である。  
答 受任者でない人が署名を集めていたのでないか。  
参考人 例はあったと聞いているが、悪意は全くなかった。判断は選挙管理委員会に任せる。

問 署名の効果を判断する機関である。  
答 受任者でない人が署名を集めていたのでないか。  
参考人 例はあったと聞いているが、悪意は全くなかった。判断は選挙管理委員会に任せる。

問 署名の効果を判断する機関である。  
答 受任者でない人が署名を集めていたのでないか。  
参考人 例はあったと聞いているが、悪意は全くなかった。判断は選挙管理委員会に任せる。

問 署名の効果を判断する機関である。  
答 受任者でない人が署名を集めていたのでないか。  
参考人 例はあったと聞いているが、悪意は全くなかった。判断は選挙管理委員会に任せる。

問 署名の効果を判断する機関である。  
答 受任者でない人が署名を集めていたのでないか。  
参考人 例はあったと聞いているが、悪意は全くなかった。判断は選挙管理委員会に任せる。

問 署名の効果を判断する機関である。  
答 受任者でない人が署名を集めていたのでないか。  
参考人 例はあったと聞いているが、悪意は全くなかった。判断は選挙管理委員会に任せる。

問 署名の効果を判断する機関である。  
答 受任者でない人が署名を集めていたのでないか。  
参考人 例はあったと聞いているが、悪意は全くなかった。判断は選挙管理委員会に任せる。

問 署名の効果を判断する機関である。  
答 受任者でない人が署名を集めていたのでないか。  
参考人 例はあったと聞いているが、悪意は全くなかった。判断は選挙管理委員会に任せる。

問 署名の効果を判断する機関である。  
答 受任者でない人が署名を集めていたのでないか。  
参考人 例はあったと聞いているが、悪意は全くなかった。判断は選挙管理委員会に任せる。

問 署名の効果を判断する機関である。  
答 受任者でない人が署名を集めていたのでないか。  
参考人 例はあったと聞いているが、悪意は全くなかった。判断は選挙管理委員会に任せる。

問 署名総数1万1364あり有効署名数が9713、無効署名数が1651あったが、このなかには地方自治法74条の4の署名に関する罰則に抵触している署名があることを認識していたのか。  
参考人 縦覧期間中に聞いたものもあるが慣れないため不備などところもあったが、受任者が罰せられるような場合には全力で守っていききたい。

問 50分の1の857人あれば提出できたが9713人の有効署名があったことについてどう思うか。  
参考人 より多くの市民に住民投票を求めていることを知ってもらいたかった。また、クリアしても審議してくれるか、また、9月議会で事務所位置についても議決されたこともあり不安だった。

問 意見陳述において、「主権は住民にあり議会は民意を反映していない」とありましたが、その根拠は。  
参考人 住民が署名を集めているなか、9月議会で事務所の位置について3分の2以上で可決してしまったことである。

時代に即した議会運営を図る

議会運営委員会

■議会運営
議会運営や活動のあり方全般について、毎月定例的に、また随時委員会を開催し、協議・意見調整を行った。特に今年度は、本会議での代表質問、一般質問の持ち時間を大幅に延長するなど、議会の



▲議会運営委員会の企画により議員研修会を実施

新たな取り組みを実施

議会改革特別委員会

21年12月14日に設置された当委員会は、前期委員会で検討した項目に12項目を追加した全41項目について、延べ13回の委員会審議と養父市議会への管外調査を実施し、調査結果を議長に答申した。3月・6月・9月・11月の議員協議会では検討状況の中間報告を行い、意見等を聴取し、可能なものから順次実施要綱等を定めて実施した。

実施した

主な取り組み

- 視察等報告書の提出
先進事例等を調査する場合、十分な事前調査をした中で先進的及び特色のある取り組みを行なっている視察先を選定し、視察後は委

積極的な情報公開に努めている。また、22年度から議長交際費の公表を行い、また、政務調査費の閲覧や交付に関する条例及び規則の一部改正を行った。

■議長の諮問

地方分権改革の進展により、議会の果たすべき役割と責任はますます重要なものとなっている。このような状況から21年12月の第30回定例会で、「議会改革特別委員会」を設置。また、新庁舎建設基本計画(案)が策定されたことにより、議員全員による「新庁舎建設調査特別委員会」の設置を行った。

12月定例会で、議会運営委員会と3つの特別委員会の1年間の調査報告がありました。

1年間の

委員会活動報告

正しく、分かりやすく編集

議会広報広聴特別委員会

■広報
本市議会は「開かれた議会」を目指して、インターネットを利用して、インターネットを利用した議会中継や会議録の公開、議長交際費の公開など、積極的に議会情報を市民に公開している。しかし、インターネットでは閲覧できる人が限られているため、幅広い年代の方々が手にとって読むことができ、重要な広報媒体であると認識している。

■広聴

広聴活動においては、参考になる事例を取り入れた。これらの結果、他市議会からは視察に訪れたいという申し出も数件あった。

議会だよりの編集には、市民に議会活動を正しく、分かりやすく伝えることを重点に置き、レイアウトや文章表現、見出しなどを工夫し、見やすく読みやすい紙面作りを心がけた。また22年2月の管

新庁舎建設案を精査

新庁舎建設調査特別委員会

庁舎等公共施設整備検討委員会が、21年2月、市長に対して、分庁舎の廃止と新庁舎の建設、市民交流センターを設置すべきと答申した。これを受けて、市は新庁舎建設基本計画(案)を策定。新庁舎建設は市民をはじめ議員にとっても大きな関心事であり、市民の負託を受けた二元代表の一翼を担う議会として調査・研究を行うため、本年3月、第31回定例会において全議員による本特別委員会が設置された。

■基本計画案の一部見直しを求める

調査研究を行うに当たっては、本特別委員会の趣旨及び目的等を再度委員全員で確認したうえで、執行部に対し、新庁舎建設基本計

■管外調査を実施

平成20年9月に竣工した京都府木津川市役所を調査。また滋賀県草津市渋川市民センターの調査を実施した。これらの事例を参考に議論を重ね、市民目線に立つて、市民に親しめる新庁舎にすべく特別委員会として意見、提言を執行部に行なった。

尊重するよう答申した。(答申を受けて12月議会で報酬削減案を可決)



▶新庁舎建設調査特別委員会
▶議会改革特別委員会

総合特区、たこフェリーは？

総務常任委員会

10月18日の所管事務調査の主な内容は次のとおり。

「防災ネット」の加入状況

9月末現在で3908名が登録済。

【防災ネット】「火災・大雨・洪水・地震」等の警報をい端末に送信するシステム。 QRコード

避難所等の備蓄食料の状況

5年間の保存期限内で台帳等で管理。毎年6千食の非常食を購入。

総合特区制度

全国で453件の提案が出ている状況。平成23年春以降に採択結果が出る。

関西広域連合設立

大阪・京都・滋賀・兵庫・和歌山・福井・徳島の2府5県が観光・防災等の施策に広域的に取り組むもので、防災分野を担当する兵庫

入札の最低制限価格

ランダム係数の導入、最低制限価格の非公表はあくまでも一時的な対応。できるだけ早い時期に従来のかたちに戻したい。

たこフェリー

設計業務委託料は、入札で最低制限価格を定めていないが、今後慎重に検討していく。たこフェリー運休の対応は、淡路3市で高速道路の無料化運動の

土木工事の追加発注ルールは？

産業建設常任委員会

10月13日の所管事務調査、主な質疑

賀集地区のほ場整備 昨昨土木工事に関しての発注の仕方は。

5地区の予算配分

が当初から不足する見込みで、対応できない部分は翌年度施工と考えていた。入札減と残土処分地の確定で予算に余裕ができたので追加の工事を行った。

県、国の土木工事で追加ほどの程度まで

許されるのか。

3割が重要変更の範囲であるが、3割超えて認めてもらった例もある。

下水道事業は変更、追加にしようか。

基本的にはほとんど同じ認識である。3割が目安。

道路関係は。

現在112戸、195筆上がってきている。金額は調査中。

現在112戸、195筆上がってきている。金額は調査中。

委員会活動報告 閉会中の委員会

兼ね合いもあり、明石市を含めた4市共同歩調のなかで考える必要がある。

その他 時間外勤務、嘱託職員制度、情報システム、一部事務組合、財政健全化計画、一括交付金等について

9月定例会以降に行われた常任委員会の閉会中の所管事務調査を報告します。

人形会館建設の入札状況は？

文教厚生常任委員会

10月19日と11月11日に所管事務調査を行いました。

10月19日の主な調査内容

- 各学校教室のエアコン設置整備対策
食育推進計画。学校給食での米、地場産品の導入メニュー
全体の学力把握への継続的学力テスト
教育委員会の組織

11月11日の主な調査内容

- 人形会館の現状
初回と2回目応札の金額の差
地元業者の落札を希望していたが、1回2回の結果と原因
大鳴門橋記念館から退去の期限
オープン計画までの人形座の件費などの問題

財政的な裏付けなど、会館建設での電話配管配線の整備、テレビインターホン、各空調設備の取りやめについての今後の対応

灘診療所の今後の取り扱い

- 市立診療所から国保診療所への移行
市教育委員会5名、学校組合教育委員1名と教育現場の問題、課題などについての懇談会を行いました。

議会活動日誌 閉会中の議会活動

Table with dates and descriptions of council activities from September to November.

# 開かれた議会を

## 目指して

### 議会報告会 参加者及び意見・提言等件数

開催日	会場	参加者数(人)	意見・提言等(件)
11月6日(土)	沼島総合センター	68	2
11月6日(土)	賀集地区公民館	130	6
11月9日(火)	緑市民センター	38	15
11月14日(日)	中央庁舎別館会議室	46	10
11月19日(金)	西淡庁舎集会室	89	7
合計		371	40

南あわじ市議会は、議会運営や課題への取り組み状況等について、市民に対する説明責任を果たすと共に、意見や要望等を聴き、市民との意思の疎通を図ることを目的として、『議会報告会』を開催しました。

### 報告会の概要

参加者数は市内5会場で延べ371人でした(別表参照)。各会場では、4班に分かれた議員が9月定例会の内容を中心に報告し、その後参加者からの質疑やご意見を賜りました。

## 市民の声

- この報告会を通じて不満や要望を市に届けることができるので、今後も続けて欲しい。
- 本会議の状況はインターネットでライブ中継されているが、一般質問同様ケーブルで録画放映して欲しい。
- 議会の傍聴は、くじ引きにすべき。
- 議案に対する議員の態度を公表するべき。
- 市長提案がほとんど

頂いたご意見ご質問は、各班で取りまとめ、議長に提出し、所管の委員会ごとに分類して今後の議会活動に活用されます。また市当局に対するものは議長から市長宛てに文書で報告しました。

- 通るのはおかしい。しっかりと審議して欲しい。
- 一般質問の内容が悪いです。
- 22年度の当初予算に新庁舎建設のための基本設計の予算が突然出てきたが、こうした時点で議会として住民の意見を聞くというのが一番大事な仕事だと思う。議会報告会の開催が遅かったのではないかな。

### 総務常任委員会の所管に関する声

- コミュニティバスの利用状況の調査を。全路線は必要ない。見直して欲しい。
- 淡路鳴門自動車道の通行料を下げるように工夫努力すべき。
- 検討委員会・審査会には公募で市民の代表も参加してもらおうべき。
- 旧町役場には課が各10前後ぐらいたったと思うが、現在30近く課が存在している。課がどんどん増えていくことを疑問に思わないのか。内部で掛け持ちすれば人員削減ができ、効率化もできる。議会はそういうチェックも必要。
- 他市の自治基本条例では住民投票などの項目が記載されているが、議会はどのよ

- うな方向で考えているか。
- ケーブルでの音声告知放送が不適切であった。

### 文教厚生常任委員会の所管に関する声

- 少子化に伴い沼島の教育機関の存続が危ぶまれている。特に、民間保育園に対しての補助金が半額になり経営も厳しい状況。生徒、園児が島外に通学となると費用もかかるため、存続できるとは配慮を。
- 体協は合併後まだバラバラ。健康増進や青少年の健全育成の観点からもう少し盛り上げることができないか。
- 人形会館建設への議会としての認識は。人形会館を狭い危険な場所に移す必要はないのでは。

- 体の弱い高齢者や身障者をどうすれば救っていかれるか考えて欲しい。
- 敬老会の市からの案内はなく、会場の方も冷房のない暑い環境で実施されており、老人であるという配慮が薄い対応であった。日頃から敬老精神があれば優しい地域づくりができるはず。

### 産業建設常任委員会の所管に関する声

- 基幹産業である農業の振興に力を入れて欲しい。
- バイオマスの指定管理はうまくいっているのか、また分担金の支払い状況は。分断されているオニオン道路を繋げてほ

- しい。新庁舎へのアクセス等不便であり、早期開通を要望する。
- 住民税、固定資産税の負担が大きい。そんな状況でT P Pをやられたら農家はだめになる。新しい農業も進め産業の振興で市民税負担を増やさないようにして欲しい。

### 庁舎建設特別委員会に関する声

- 沼島での地籍調査の状況は。
- イングランドの丘の経営状況をしっかりと監視して欲しい。
- 津波が心配される福島のさくら苑の下で計画されている市営住宅の建設はどのよう議論されたか。また部屋数、母子自立支援の部屋の確保等の検討は。
- 特別会計や企業会計は独立採算制でやるべきだ。
- 下水道事業が数億という赤字を出してい

- この補てんに消費税など一般財政に使うべき歳入を使っており、その為に産業振興に財源が回らない現実を起こしているのではないかな。

### 庁舎建設特別委員会に関する声

- 分庁舎跡地は、何に使うのか。また、利用はどんな段取りで進めていくのか。
- 複雑な市役所の窓口業務を交流センターで出来るのか。
- 市民交流センターに、3年間だけ職員を置くというのでは、市民は納得できない。
- 市民交流センターで人を雇うのと、職員数の削減は矛盾しているのではないかな。
- 分庁舎のケーブルネットワークは、取り壊して無駄になるのか。現在のままで工夫す



議会報告会(賀集地区公民館)

# 第37回南あわじ市議会定例会日程（3月）

◆開会はずべて午前10時～

会議日	会議内容（予定）
第1日 2月28日(月)	1.平成23年度施政方針表明
第2日 3月1日(火)	2.平成23年度南あわじ市一般会計、特別会計、公営企業会計予算上程(説明) 3.条例案上程(質疑、委員会付託) 4.平成22年度南あわじ市一般会計、特別会計、公営企業会計補正予算上程(質疑、委員会付託) 5.その他の案件上程(質疑、委員会付託)
第3日 3月3日(水)	1.一般質問(代表・個人) (平成23年度予算・施政方針の総括質疑を含む)
第4日 3月7日(月)	
第5日 3月8日(火)	
第6日 3月9日(水)	1.一般質問 2.平成23年度南あわじ市一般会計、特別会計、公営企業会計予算(質疑、委員会付託) 3.追加議案上程(質疑、委員会付託)
第7日 3月25日(金)	1.付託案件委員会審査報告(討論、表決) 2.追加議案上程(質疑、討論、表決)



会議日	会議内容
3月18日(金) 午前10時	総務常任委員会
3月22日(火) 午前10時	文教厚生常任委員会
3月23日(水) 午前10時	産業建設常任委員会

※平成23年度予算は、予算審査特別委員会を設置し審査を行います。

審査の日程は、予算審査特別委員会設置後、3月10日(木)・14日(月)・15日(火)・16日(水)で調整を行う予定です。

## インターネット議会中継

南あわじ市議会

検索

クリック

本会議・委員会のインターネット中継を行っています。

<http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp>



南あわじ市ホームページ

「議会情報」



「インターネット中継」へ。

## 編集後記

昨年に引き続き、広報広聴特別委員会の委員長を務めることになりました。

今年の編集方針は議会の開催中、閉会中も含め、議会の状況、議員の活動状況をより詳しく、かつ分かり易くお伝えすること、そしてもう一つは「議会だより」がマンネリ化しないよう変化させていくことです。

議会開催時は何と言っても議案審査です。今回は議案内容、審議内容、採決結果をリンクさせた編集にしています。

上程された議案については、本会議での質疑、委員会での時間をかけての入念、慎重な審議が行われますが、残念ながら紙面の制約で簡略化せざるを得ません。

また、一般質問欄も各議員5000字の字数制約をつけており、ポイントだけしか記載できません。

南あわじ市ホームページの「議会情報」の項には詳しい議案内容、及び会議録には詳細な質疑が掲載されていますので、参照して下さい。

閉会中にも様々な議会活動が行われています。各常任、特別委員会で

の活動、各種行事への参加、今回は特に議会報告会での皆様からのご意見をできるだけ多く載せるようにしています。

「開かれた議会」を目指して、そのための「議会だより」の役割を十分に認識し、これからも編集に努めてまいりますので、ご意見、ご要望お寄せいただければ、編集に反映していきたいと考えております。

(委員長 柏木 剛)



▲議会広報広聴特別委員会